

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	広範囲な生体内部位にウイルス並に感染する汎用型ネオ・バイオナノカプセルの創製
研究代表者	黒田 俊一（大阪大学・産業科学研究所・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、薬物送達（Drug Delivery System: DDS）機能に、①標的化能、②ステルス能、③細胞質内侵入能を併せ持つ従来にないナノキャリアを作製することを目的とし、これが成功すればDDS分野に多大な貢献が期待できる世界に先駆けた研究の提案である。これまで応募者は当該分野で豊富な研究業績を有し、国際的にもその成果は高く評価され、これまでの研究実績に裏付けされた研究計画は、汎用ナノカプセルを具現化し、実用化できる可能性が高いと判断される。以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>